

## 岩手県競馬組合の運営状況について

## 第 1 平成 19 年度決算見込

年度当初から発売額が計画額を下回る厳しい状況が続いたが、年度途中で 3 回のコスト調整を実施し、平成 10 年度以来、9 年ぶりに単年度黒字を達成する見込み。

損益（見込）額 (単位：百万円)

区分		金額	
岩手競馬発売収入	自場発売	16,969	
	街中場外	267	
	広域委託発売	4,814	
	インターネット発売	1,258	
	計(A)	23,308	
その他収入	広域受託協力金	1,493	
	その他	861	
	計(B)	2,354	
収入合計(C=A+B)		25,662	
売上原価(D)		18,985	
総利益(E=C-D)		6,677	
販売費及び管理費	競走関係費(賞典費)		2,228
	事業運営費	施設・情報システム費	1,839
		開催労務費	716
		営業販売費	263
		人件費	410
		その他販売・管理費	1,047
	小計	4,275	
計(F)	6,503		
営業利益(G=E-F)		174	
営業外費用(H)		125	
経常損益(見込)(G-H)		49	

(注1) 端数調整等により、計数に異動が生じる場合があること。

(注2) 前年度以前からの収支の累積である「実質収支」での歳入不足額(繰上充用額)は、平成 18 年度と同額の 329 億 54 百万円。

## 《参考》平成 19 年度発売額の計画達成状況

(単位：百万円、%)

区分	岩手競馬発売額 (H19. 4. 7~H20. 3. 24)				計	広域受託発売額 (H19. 4. 1~H20. 3. 31)
	自場発売	広域委託発売	インターネット発売	計		
計画値(a)	17,360	4,799	1,257	23,416	9,671	
実績額(b)	17,236	4,814	1,258	23,308	9,788	
過不足額(b-a)	△124	15	1	△108	117	
達成率	99.3	100.3	100.1	99.5	101.2	

第2 平成20年度の発売状況（第1回盛岡競馬終了時点 4/5～6/9）

1 発売額の計画達成状況

平成20年度の岩手競馬は、4月5日に水沢競馬場で開幕し、第1回盛岡競馬終了時点まで（～6/9）の、岩手競馬発売の計画達成率は91.5%。広域受託発売の計画達成率は106.3%

競馬組合では、売上向上策として、副賞として種牡馬の配合権利が与えられる「スタリオンシリーズ」（5/11～）、月曜日の発走時間を通常より1時間繰り下げる薄暮開催「マンデー・トワイライトレース」（6/9～）を実施。

（単位：百万円、%）

区分	岩手競馬発売額 (H20.4.5～6.9)				広域受託発売額
	自場発売	広域委託発売	インターネット発売	計	
計画値 (a)	4,187	916	265	5,368	1,540
実績額 (b)	3,661	910	340	4,911	1,637
過不足額 (b-a)	△526	△6	75	△457	97
達成率	87.4	99.3	128.3	91.5	106.3

2 岩手競馬発売成績

① 発売金額 4,911百万円（前年比 84.4%） ② 入場者数 430,383人（前年比 94.7%）

（単位：百万円、人、%）

区分	発売額 (累計)			入場者数		
	20年度	19年度	前年比(%)	20年度	19年度	前年比(%)
水沢競馬場	1,092	1,317	82.9	97,240	109,267	89.0
盛岡競馬場	707	942	75.0	91,676	103,203	88.8
テレトラック宮古	82	104	78.4	6,731	7,249	92.9
テレトラック釜石	173	218	79.3	10,008	13,756	72.8
テレトラック種市	227	249	91.5	33,527	16,008	209.4
テレトラック安代	118	145	81.3	6,135	6,742	91.0
大通場外	59	7	816.9			
電話投票	43	50	86.7			
県内施設 (a)	2,501	3,032	82.5	245,317	256,225	95.7
テレトラック横手	351	394	89.0	100,626	108,879	92.4
テレトラック山本	119	149	80.2	18,499	19,099	96.9
テレトラック三本木	423	564	74.9	41,031	43,941	93.4
テレトラック十和田	151	164	92.5	24,910	26,505	94.0
テレトラックつがる	45	55	81.9			
福島場外	29	41	69.5			
東京場外	42	38	109.9			
県外施設 (b)	1,160	1,405	82.5	185,066	198,424	93.3
本場・場外 (a+b)	3,661	4,437	82.5	430,383	454,649	94.7
広域委託	910	1,146	79.4			
インターネット	340	236	144.2			
計	4,911	5,819	84.4	430,383	454,649	94.7

（注1）発売金額及び入場者数の前年度比について、同じ延べ日数に当たる開催日（30日目）との比較であること。

（注2）端数調整等により、計数に異動が生ずる場合があること。

《参考》運営協議会での収支計画調整のスケジュール

年度	平成20年度											
	第1期		第2期		第3期			第4期		第5期		
期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収支計画の調整スケジュール	水沢実績		調整		実行							
			盛岡実績		調整			実行				
					水沢・盛岡実績			調整		実行		
									水沢実績		調整	



### 第3 民間委託拡大に関する検討

#### 1 企画提案選定委員会の選定結果

##### (1) 最優秀企画提案

- ・ 提案企業 日本ユニシス株式会社  
(東京都江東区豊洲1丁目1番1号、代表取締役社長 初井勝人)
- ・ 提案概要 別紙のとおり

##### (2) 企画提案募集の概要及び経過

競馬組合では、競馬組合が行う業務のうち、地方公共団体としての固有業務や競馬法の規定で民間企業に委託できない業務（競走の実施等）を除く業務全般を一括して受託する場合の、運営組織、集客・売上向上策、収支計画などについて企画提案を募集した。

##### 《募集の経過（平成20年）》

募集要領の配布期間	1月4日～2月29日	
説明会	1月18日	参加 14社
資格審査申請受付期間	3月3日～3月7日	申請 3社
企画提案受付期間	3月24日～3月31日	企画提案書提出 2社
選定委員会の開催	4月26日、5月25日	

##### (3) 審査結果

- 第2回選定委員会（4.26）で、提出された2つの企画提案を審査した結果、日本ユニシス（株）から提出された企画提案を「優先交渉提案」に選定。
- 第3回選定委員会（5.25）で、日本ユニシス（株）の企画提案について最終的な総合評価を行った結果、競馬組合への収益保証の点で県民・市民の理解が得られるかどうか疑問が残る、賞典費の大幅削減の提案はその実現可能性に不安があるなど懸念される点はあるものの、今後、具体的な交渉の中で協議・調整し、合意が可能かどうかを探っていくことで、引き続き、民間委託拡大の可能性を検討するとの趣旨から、「最優秀企画提案」として選定。

#### 2 競馬組合の対応

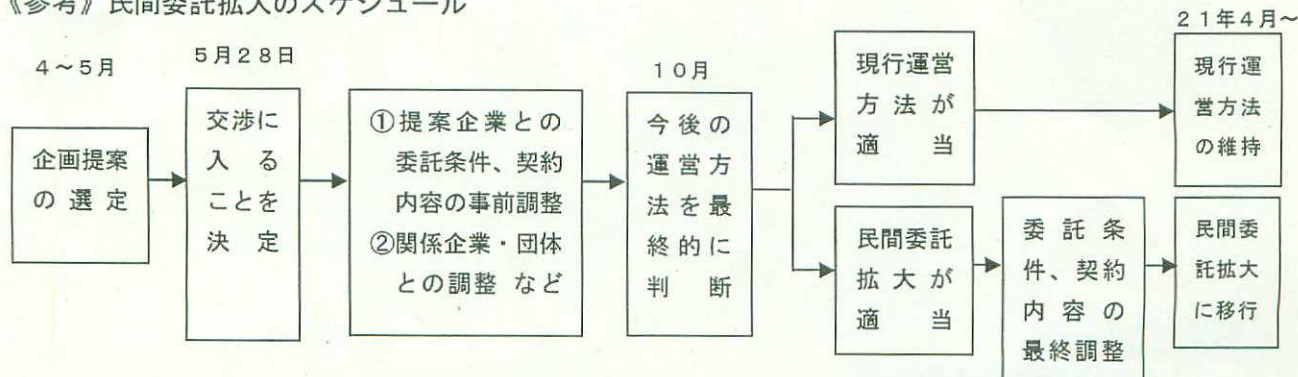
##### (1) 具体的な交渉に入ることの決定

競馬組合では、選定委員会の選定結果を受け、5月28日、「昨年10月の岩手県競馬組合議会の勧告に応えるためにも、今後、協議・調整を進める中で、民間委託拡大が『岩手競馬の今後の事業運営方法として適当かどうか』を検討していくために、最優秀企画提案企業との具体的な交渉に入る」ことを決定し、その旨を同日開催された岩手県競馬組合議会定例会に報告した。

##### (2) 今後の進め方

競馬組合では、今後、最優秀企画提案企業と委託条件や契約内容の事前調整、関係団体・企業との必要な協議などを進め、概ね10月を目処に、交渉の結果等を踏まえ、民間委託拡大が「岩手競馬の今後の事業運営方法として適当かどうか」を最終的に判断する。

#### 《参考》民間委託拡大のスケジュール



## 最優秀企画提案について

## 1 日本ユニシス(株)の企画提案の概要

項目	企画提案内容の概要
① 基本方針・業務フロー	<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 徹底した業務の効率化と組織体制の簡素化</li> <li>② 地元ファンの確立と組織化</li> <li>③ 行政との連携による地場産業化</li> </ul> <p>【業務の範囲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方公共団体固有事務、競走の実施を除く全ての業務（勝馬投票券の発売・払戻、発売投票システムの管理運営、各施設の管理運営、ファンサービス、広告宣伝 など）</li> <li>○ ただし、現在、民間企業に委託している業務は「受託検討対象」とし、組合と合意した業務を受託。</li> </ul> <p>【業務実施期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5年間（ただし、6ヶ月前の事前予告により契約解消可能）</li> </ul>
② 運営組織等	<p>【受託者の運営組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 常設の運営組織を社内に設置し、実際業務の遂行のため現地に事務所設置</li> <li>○ 職員配置 常勤38人 パート6人 臨時職員8人</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬振興公社の廃止、競馬組合と受託者による事業運営体制を構築</li> </ul>
運営面 ③ 業務効率化策	<p>警備関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 車両入退場門警備の廃止等による警備配置の見直し、警備員単価の見直し</li> </ul> <p>投票窓口関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動発売機の投入、稼働率の低い投票所・窓口の閉鎖</li> <li>○ 投票・払戻システム保守員の常駐の見直し、電話投票システム会員のインターネット販売への移行誘導の検討</li> </ul> <p>施設・人員削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県外4テトラックについては、各発売所の賃借料が売上に見合った適正な価格であるか見直す必要。不採算施設は、賃借料の変動費化やさらなる引き下げなど不採算の解消が必要。</li> <li>○ 競馬組合職員の削減</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催日程等の再編成による競走馬輸送業務の削減 など</li> </ul>
④ ファンサービス向上策	<p>施設面サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般席の増席や特別観覧席の入場料金の見直しによる観覧席全体の稼働率向上</li> <li>○ 飲食サービス商品、価格、提供方法及び飲食スペース等の見直しを検討</li> <li>○ パドック周辺での投票券発売の検討</li> </ul> <p>その他のサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット購入客へのポイント付与サービス導入の検討</li> <li>○ 地元向けの会員クラブ制度の整備</li> </ul>



項目	企画提案内容の概要																																																																	
運営面	<p><b>販売関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重勝式を活用した商品のインターネット等による販売</li> </ul> <p><b>施設関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 両競馬場の特性を生かし、水沢競馬場は「自場重視型」、盛岡競馬場は「広域委託重視型」の競馬場とし、水沢は土日開催、盛岡は平日開催とすることも検討</li> <li>○ ミニ場外を盛岡・水沢地域の中心駅や郊外型ショッピングセンター近くへ出店</li> </ul> <p><b>レース関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスや成績による出走手当の見直し。選抜レースの増加</li> <li>○ 第1、第2レース及びメインレース前レースにおける少数頭立レースの配置</li> </ul>																																																																	
	<p><b>⑥ 危機管理体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 危機管理担当者の設置、緊急連絡網の組合の連絡網との連結。緊急時における組合との役割分担の明確化 など</li> </ul>																																																																	
	<p><b>⑦ 施設活用・その他工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ パルソビルの映像配信業務スペースの競馬場への移転、その後の有効利用の検討(例えば、県に売却し、防災・医療ネットワークの監視拠点へ移行) など</li> </ul>																																																																	
経済面	<p><b>⑧ 収益保証率</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬事業から得られる収入の0.25% ただし、事業受託後3年目(23年度)から支払う。</li> </ul>																																																																	
	<p><b>⑨ 入場人員・収支見込み</b></p> <p>○ 収支見込み</p> <p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数(日)</td> <td>132</td> <td>132</td> <td>132</td> <td>132</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>入場人員(人)</td> <td>981,000</td> <td>1,030,000</td> <td>1,153,000</td> <td>1,290,000</td> <td>1,388,000</td> </tr> <tr> <td>事業収入 a</td> <td>20,000</td> <td>21,000</td> <td>23,500</td> <td>26,300</td> <td>28,300</td> </tr> <tr> <td>支出 b</td> <td>20,000</td> <td>21,000</td> <td>23,441</td> <td>26,234</td> <td>28,229</td> </tr> <tr> <td>  売上原価</td> <td>14,429</td> <td>15,150</td> <td>16,954</td> <td>18,974</td> <td>20,417</td> </tr> <tr> <td>  賞典費</td> <td>1,468</td> <td>1,542</td> <td>1,725</td> <td>1,931</td> <td>2,078</td> </tr> <tr> <td>  直営経費</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>  委託料</td> <td>3,936</td> <td>4,141</td> <td>4,595</td> <td>5,162</td> <td>5,567</td> </tr> <tr> <td>  利子</td> <td>99</td> <td>99</td> <td>99</td> <td>99</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>収益保証額(a-b)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>59</td> <td>66</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	開催日数(日)	132	132	132	132	132	入場人員(人)	981,000	1,030,000	1,153,000	1,290,000	1,388,000	事業収入 a	20,000	21,000	23,500	26,300	28,300	支出 b	20,000	21,000	23,441	26,234	28,229	売上原価	14,429	15,150	16,954	18,974	20,417	賞典費	1,468	1,542	1,725	1,931	2,078	直営経費	68	68	68	68	68	委託料	3,936	4,141	4,595	5,162	5,567	利子	99	99	99	99	99	収益保証額(a-b)	0	0	59	66
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																																																													
開催日数(日)	132	132	132	132	132																																																													
入場人員(人)	981,000	1,030,000	1,153,000	1,290,000	1,388,000																																																													
事業収入 a	20,000	21,000	23,500	26,300	28,300																																																													
支出 b	20,000	21,000	23,441	26,234	28,229																																																													
売上原価	14,429	15,150	16,954	18,974	20,417																																																													
賞典費	1,468	1,542	1,725	1,931	2,078																																																													
直営経費	68	68	68	68	68																																																													
委託料	3,936	4,141	4,595	5,162	5,567																																																													
利子	99	99	99	99	99																																																													
収益保証額(a-b)	0	0	59	66	71																																																													
その他	<p><b>⑩ 委託料積算見込み</b></p> <p>【売上収入257億円の場合の積算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組合試算額の3,972百万円に対し、5,041百万円と1,069百万円の増</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構成団体への元金返済ルールについて、民間委託拡大した場合は、ルールを変更するものとし、変更ルールについては、元金返済の責を負う競馬組合と提案企業間相互で承認の上適用。</li> </ul>																																																																	

## 2 企画提案の数値及び内容について

上記1の企画提案の数値及び内容について、日本ユニシス㈱から、企画提案選定委員会において、次のような説明を受けていること。

- ① 提案時における一定の前提をもとにした試算値及び内容であること
- ② 今後の具体的な協議・交渉の過程を通じて、必要な見直しや調整が図られていくものであること

## 日本ユニシス株式会社の概要

社名	日本ユニシス株式会社 Nihon Unisys, Ltd.
設立	昭和33年(1958年)3月
代表者	代表取締役社長 羽井勝人
資本金	54億8,317万円
売上高	3,377億59百万円(連結)(2008年3月期)
従業員数	4,460名(グループ8,839名 2007年4月1日現在)
主要株主	三井物産株式会社
事業内容	コンサルティングサービス、ITソリューション、アウトソーシングサービス、サポートサービスおよびシステム関連サービスの提供、ならびにコンピュータシステム(ハードウェア、ソフトウェア)の販売

## 事業所

本社:	〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1 電話:03-5546-4111(大代表)
支社:	関西支社(大阪)、中部支社(名古屋)、九州支社(福岡)
支店:	北海道支店(札幌)、東北支店(仙台)、新潟支店(新潟)、 北陸支店(金沢)、静岡支店(静岡)、中国支店(広島)
その他:	東京ベイ開発センター、札幌テクノセンター、 東京エデュケーションセンター、伊豆エグゼクティブ・センター

※日本ユニシス株式会社ホームページ「会社概要」より



## 民間委託拡大に関する企画提案の審査選定方法

### 1 企画提案内容審査の方法

提出された企画提案について、面接審査（企画提案者のプレゼンテーション及び質疑応答）を実施し、委員間の意見交換を行った上で、各委員が次の評価基準及び採点基準により採点を行う。

#### 【評価基準】

項目		評価のポイント	配点	
運営面	基本方針・業務フロー	必要な業務がすべて措置されているか	5	40
		業務の実施方法が適切で円滑な業務遂行が可能か	5	
	運営組織等	常設組織・人員配置等が適切か	5	
	業務効率化策	現在よりも効率化が図られているか	5	
	ファンサービス向上策	効果的な方策が講じられているか	5	
	集客・売上向上策	効果的な方策が講じられているか	5	
	危機管理体制	法令の遵守、機密保持対策の有無、不測の事態に対する措置が講じられているか	5	
	施設活用・その他工夫	効果的な方策が講じられているか	5	
経済面	収益保証率	借入金元金償還等に十分な収益が確保されているか	15	50
	入場人員・収支見込み	現実的な見込みであるか	5	
		委託料積算見込み	実施内容に見合った経費の内容か 収支見込みとの整合はあるか 収益保証率との整合はあるか	
	提案者の経営状態（経営の健全性）	企画提案者の経営状態は健全か	10	
合計			100	100

#### 【採点基準】

5段階評価とし、各評価の乗率を定め、当該乗率を配点に乗じて採点する。

- A（特に優れている）＝1.0
- B（優れている）＝0.8
- C（普通）＝0.6
- D（やや劣る）＝0.4
- E（劣っている）＝0.2

### 2 総合評価の方法

企画提案内容審査における各委員の採点結果の合計得点により順位を決定することとし、その順位をもとに、次により最優秀企画提案を選定する。

- (1) 原則として、合計得点順位が第一位の企画提案を最優秀企画提案とする。
- (2) 合計得点が満点の6割（採点基準の「普通」に相当）に達していないなど、最優秀企画提案としての妥当性が認められる企画提案がないと判断されるときは、最優秀企画提案を選定しないことも可能とする。
- (3) (1)、(2)の決定は、出席委員の過半数で決する。（可否同数の場合は委員長が決する。）

## 委員名簿

(五十音順)

氏 名	所属・職名等
雨 宮 敬 徳	地方競馬全国協会理事
池 田 克 典	盛岡市副市長
岩 井 憲 男	奥州市副市長
加 藤 久 智	株式会社IBC岩手放送制作グループ 副部長兼報道局アナウンス部副部長
斉 藤 幸 也	岩手県競馬組合業務部長
下 田 栄 行	岩手県競馬組合事業運営監視委員会委員・公認会計士
高 前 田 寿 幸	岩手県農林水産部長
新 居 田 弘 文	岩手県競馬組合議会議員・岩手県議会議員
宮 一 夫	岩手県競馬組合事務局長



平成20年5月25日  
岩手県競馬組合第3回岩手競馬の民間委託拡大に関する企画提案選定委員会の  
審査結果に関する委員長コメント

- 本日、委員会を開催し、前回の委員会（4月26日）において「優先交渉提案」として選定した企画提案について、提案企業から再度内容の確認を行い、審査した結果、「最優秀企画提案」として、次の企業から提出された企画提案を選定しました。
- ・ 名称 日本ユニシス株式会社
  - ・ 代表者 代表取締役社長 初井勝人
  - ・ 所在地 東京都江東区豊洲一丁目1番1号
- 前回の委員会においては、この企画提案には、岩手競馬を継続させるという強い熱意が見られ、民間の視点による経営管理手法の導入など経営改善の方策として評価するとの意見があり、また、インターネットの活用や、全国的な事業展開が期待される点など、民間の発想による優れた提案内容であり、最優秀企画提案とすべきとの意見がありました。
- 一方、民間委託拡大は競馬組合にとって大変大きな改革であり、また、民間委託拡大後における構成団体からの330億円融資の返済等の問題は、県民・市民の大きな関心事であることなどから、更に提案の具体的内容の確認などを行うべきとの意見も出され、改めて、委員会を開催し、最終的に判断することとしていたものです。
- このため、本日の委員会においては、
- ① 業務効率化策、収益保証率などの提案内容の調整の余地
  - ② 構成団体への元金返済ルールの変更に関する考え方
  - ③ 賞典費の削減、馬資源の確保、強い馬の育成に対する考え方
  - ④ 新規事業の考え方
- などを中心に、再度、提案企業から説明を受けたところです。
- 審査においては、競馬組合への収益保証の点について県民・市民の理解が得られるかどうか疑問が残る、賞典費の大幅削減の提案についてその実現可能性に不安がある、といった観点からの質疑がありました。
- 民間の視点による提案内容に一定の評価があり、また、今回、提案企業からは、収益保証や賞典費等の提案は一定の前提をもとにしたものであり、今後の競馬組合との具体的な協議の過程を通じて、必要な見直しや調整が図られていくものである旨の説明があったところです。
- このようなことから、懸念される点については、今後、具体的な交渉の中で協議・調整し、合意が可能かどうかを探っていくことで、引き続き、民間委託拡大の可能性を検討するとの趣旨から、本委員会としては、「最優秀企画提案」に選定したものです。
- したがって、実際に民間委託拡大が実現するかどうかは、今後の交渉を通じて合意できる条件が整うかどうかによるものと考えられます。